

## 2022年10月理事会議事録

日 時：2022年10月7日（金）15：00～18：20

場 所：九州大学伊都キャンパス日本ジョナサン・KS・チョイ文化館・オンライン会議

出 席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・足立拓朗・岩本 崇・大坪志子・岡林孝作・亀田直美・黒沢 浩・小菅将夫・澤田秀実・高倉 純・田尻義了・谷畑美帆・野口 淳・肥後弘幸・日高 慎・藤沢 敦・藤野次史・水本和美・溝口孝司・高麗 正、監事：都築恵美子・萩野谷 悟、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：谷口 榮

進 行：岩本 崇

議 長：辻 秀人

岩本理事から、本日の出席者は25名（うち理事23名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

### 会員の訃報について

小菅理事から、北海道の田部 淳会員が2021年4月17日、山口県の松岡睦彦会員が2022年8月4日、茨城県の佐藤政則会員が8月22日、栃木県の富田 裕会員が8月31日、宮城県の志間泰治会員が9月21日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

### 議案第701号 退会会員の承認について

小菅理事から、宮城県の\*会員、山形県の\*会員、千葉県の\*会員、東京都の\*会員、大阪府の\*会員、奈良県の\*会員、島根県の\*会員から2022年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

### 議案第702号 2022-23年度協会賞選考委員（理事）の選出について

佐藤副会長から、日本考古学協会賞選考委員について、①理事会からは佐藤副会長と機関誌担当の澤田理事が担当すること、②任期満了の委員3名の後任候補者の選考方法等について佐藤副会長・澤田理事に一任願いたいとの提案があり、原案通り承認された。また、第13回協会賞選考委員会の日程が提示された。

### 議案第703号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の追加選任について

藤沢理事から、3月理事会議案第668号で承認された2022～2023年度埋蔵文化財保護対策委員会委員に、人数不足で調整していた新潟県の委員として追加で加藤元康会員を選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

### 報告第903号 第88回総会（早稲田大学）の総括と課題について

田尻理事から、今年春の第88回総会実行委員会から総括及び総会開催における課題の提示があり、①これまで関東の大学で持ち回りで開催してきたが、教員や学生数の減少によ

るスタッフの確保不足への懸念、②オンライン配信での開催が今後常態化する場合、業務ごとの配信業者の固定化の検討、③図書交換会のあり方の検証について意見があったことが報告され、各理事に今後の総会の開催方法について意見が求められた。

#### **報告第904号 2022年度福岡大会の理事役割分担の確認と全体進行について**

田尻理事から、2022年度福岡大会について、「大会実施要項」に基づき、日程と各理事の役割分担及び全体進行について確認された。会場の構造から公開講演会の会場を大講義室Ⅰから大講義室Ⅱに変更すること、また各分科会の閉会挨拶については省略するとの説明があり、了承された。

#### **報告第905号 各委員会等における2022年度会議等報告について（その3）**

##### **1 機関誌『日本考古学』編集委員会の報告**

黒沢理事から、機関誌『日本考古学』編集委員会では、①『日本考古学』第55号を2022年度福岡大会時に刊行し、第56号刊行に向けて投稿受付中である。②書評の英文要旨について、会員から疑義が出され、編集委員会で協議の結果、英語の書籍以外は英文要旨を付さないこととする。③査読委員について、投稿原稿により幅広い人材に依頼していることから次年度以降は委嘱しない方向である。④J-STAGEに搭載している『日本考古学』について、巻号表記が実際の雑誌と齟齬があるとの指摘を受けて調査を行ったところ、J-STAGEの変更や修正・削除はできないとの回答があり、今後『日本考古学』をオンライン上で公開する際の著作権の処理や委託販売契約の見直し等とあわせて検討課題とする。⑤編集委員会の構成人数について、古代以降の投稿数が多いことから増員を検討していくとの報告があり、了承された。

##### **2 埋蔵文化財保護対策委員会の報告**

藤野理事から、9月10日（土）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について現状が報告され、5・6街区の計画が未だに提示されていないことから今後の動向に注視する必要がある。②島本町越谷遺跡について、要望書に対する回答があり、また現地を確認した結果を受けて協議し、現状認識を紙面で問合せた。③広島市広島城跡について要望書に対する回答があり、専門知識を有する職員の採用など対応も進んだが、引き続き注視していく、④出雲市大社基地跡について、要望書に対する回答が未着との報告があり、了承された。また、岩本理事から補足説明があり、出雲市大社基地跡の直近の状況が報告された。

##### **3 広報委員会の報告**

大竹副会長から、広報委員会では公式サイトのリニューアルを検討しており、各委員会・事業の担当理事に期日までに意見や要望の提出が求められた。

続けて野口理事から、8月2日（火）及び9月1日（木）に委員会をオンラインで開催、主に公式サイトのリニューアルに向けて検討を行い、リニューアルにおけるデザインや機能等について高度な専門性が必要なことから、広報委員会を補佐する「公式サイト検討ワーキンググループ」を2023年3月までの期限を区切って設置し、詳しい会員7名を構成メ

ンバーとして選任したとの報告があり、了承された。また、リニューアルの目的としては、会員・一般・非会員等各対象に向けての情報を整理し見やすくすること、必要情報へのアクセスのしやすさ、スマートフォンへの対応やセキュリティ強化等でありワーキンググループの意見を参考に検討を進めるとの説明があり、2023年度に実際の業務発注を実施するために必要な予算措置やリニューアルのスケジュールや方向性等について意見交換が行われた。

#### 4 研究環境検討委員会の報告

日高理事から、8月27日（土）・9月19日（月）委員会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①博物館法の改正について意見交換を行った。②2022年度福岡大会におけるポスターセッションの発表内容について協議した。③12月10日（土）のカフェde考古学第6回の実施内容について検討したとの報告があり、了承された。

#### 5 国際交流委員会の報告

溝口理事から、委員会をオンラインで開催し、①ホームページ上で海外への遺跡紹介を行っている英文コンテンツについては、昨年度に引き続き英語・中国語・韓国語で実施することで、掲載遺跡を「発掘された日本列島2021」展より選択、決定した。また、併せて高輪築堤跡についても掲載を予定している。②アジア考古学四学会合同講演会は継続検討中であるとの報告があり、了承された。

#### 6 賛助会員事業の報告

大竹理事から、賛助会員への事業として、カフェde考古学や学習会（見学会）等の今後の活動案内を送付した。また、本年度第1回の賛助会員の学習会を、10月29日（土）に鎌倉周辺の歴史遺産を訪ねる見学会として実施する予定であり、ちらしを作成して参加者を募集中であるとの報告があり、了承された。

#### 7 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

小菅理事から、7月3日（日）と8月27日（土）に委員会をオンラインで開催し、①教科書会社への提出を予定している小学校教科書改善の文書案を協議した。②高等学校における「歴史総合」・「日本史探求」の教科書の扱いについて意見交換を行った。③GIGAスクール等で使用できるWebコンテンツの作成及び協会公式サイトへの掲載について広報委員会担当者と打合せを行い、それを受けて内容等を検討した。④2022年度福岡大会ポスターセッションの内容について協議した。⑤教科書通信「歴史教科書を考える」第18号・第19号について福岡大会時での配布を目標に作成する。⑥文部科学省との懇談の実施について方向性を協議したとの報告があり、了承された。

#### 8 年報74号・75号の編集等の進捗状況について

亀田理事から、①『日本考古学年報』74号については印刷会社に入稿し、未提出の執筆者には原稿の提出を督促している。②75号については7月理事会で各理事に執筆者の選定を依頼し、決定した箇所から順次連絡をいただいているとの報告があり、了承された。な

お、「学際領域」等の分野について意見が出され、今後の検討が求められた。

#### **報告第906号 カフェde考古学第4回「中国考古学の現在」の成果報告**

大竹副会長から、8月20日（土）にカフェde考古学第4回「中国考古学の現在」を、国際交流委員会委員長である成城大学の小澤正人教授と、出光美術館の徳留大輔会員をゲストスピーカーとして座談会形式で開催し、約50名の参加を得て、開催後には試験的にアンケートを実施したとの報告があり、了承された。

#### **報告第907号 カフェde考古学第5回「日本考古学協会2022年度福岡大会公開講演会」**

田尻理事及び大竹副会長から、2022年度福岡大会公開講演会をカフェde考古学で申込の非会員には講演資料を配布したこと、終了後には第4回と同様にアンケートを実施して感想・意見を伺うする予定であることが説明され、了承された。

#### **報告第908号 2022年度上半期・正副会長会務報告**

大竹副会長及び佐藤副会長、辻会長から、定款第24条第3項の定めにより、それぞれ今年度上半期の各種行事・会議の出席等、職務執行状況について報告があった。

#### **報告第909号 名義使用の後援依頼に関わる承認について**

佐藤副会長から、①日本学術会議史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会から12月11日（日）開催の公開シンポジウム「文化財保護に未来はあるか—日本の文化財のこれからを考える—」について、高麗常務理事から、②観光考古学会から11月19日（土）開催の武蔵国分寺跡100周年記念観光考古学会パネルディスカッション「武蔵国分寺跡の保存と観光活用」について、③佐世保市教育委員会から福井洞窟ミュージアムほか全8会場で開催の倉敷考古館との共同開催事業の企画展示会「洞窟×考古学者」について、それぞれ後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

#### **その他**

##### **1 2023年度の各委員会等における予算書の提出について**

肥後理事から、各委員会及び事業担当理事に、来年度予算要求案の作成及び期日までの提出が求められた。

以上